

特別陳列「十二支の考古学—卯—」開催要項

開催趣旨 当博物館では、例年年末年始に新年の干支をテーマとした特別陳列を開催しています。今回は、平成23年の干支「卯（う）」（ウサギ）を取り上げます。「ウサギ狩り」、「十二支のウサギ」、「月とウサギ」、「ウサギの形象」の4部構成とし、人々の生活とウサギとの関わり、ウサギと十二支や日月との関係、さまざまな器物に表現されたウサギの姿などを、考古資料を中心に紹介します。

開催期間 2010年12月11日（土）～2011年1月16日（日）

休館日 月曜日（ただし1月10日成人の日は開館）、年末年始（12月27日～1月4日）、1月11日

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

後援 財団法人 由良大和古代文化研究協会

入館料 大人400円（350円）、高・大学生300円（250円）、小・中学生200円（150円）

（ ）内は20名以上の団体料金

65歳以上の方、外国人観光客および付き添いのボランティアガイドの方、身体障害者およびその介護者の方は無料（それぞれ証明するものをご提示ください）

期間中の土曜日は県内の小・中・高・特別支援学校生は無料。

講演会 日時：2011年1月10日（月曜日・成人の日） 午後1時から

場所：橿原考古学研究所講堂

菅谷文則（当研究所所長）

「月にいるのはウサギかヒキガエルか—日中古代月宮像について—」

鹿谷 勲氏（奈良県立民俗博物館学芸課課長）

「ウサギと正月行事」

工作教室 「ウサギのおもちゃを作ろう」日時：2011年1月15日（土曜日） 午後1時から

場所：橿原考古学研究所附属博物館 協力：森と水の源流館

主な展示品

ウサギの骨（橿原遺跡出土・当館蔵、唐古・鍵遺跡出土・田原本町教育委員会蔵）、鏡袋に使用されたウサギの毛（下池山古墳出土・当研究所蔵）、毛筆に使用する獣毛・毛筆（あかしや蔵）、金庾信墓十二支護石（寅・卯）拓本（個人蔵）、伝真徳王陵十二支護石（寅・卯）拓本（当研究所蔵・末永雅雄氏旧蔵）、那富山墓隼人石拓本（当研究所蔵・原品宮内庁）、小型臼・杵（唐古・鍵遺跡出土・田原本町教育委員会蔵）、臼・竪杵・小絵馬（奈良県立民俗博物館蔵）、日像幢・月像幢復元品（奈良文化財研究所蔵）、画文帯同向式神獸鏡（ホケノ山古墳出土・当研究所蔵）、画文帯神獸鏡（黒塚古墳出土・当研究所蔵）、画文帯同向式神獸鏡（新沢109号墳出土・当館蔵）、正倉院宝物模造品・鞆（当館蔵）、染付磁器菊皿・大鉢（今井寺内町出土・橿原市教育委員会）、印章（シュメール文化・江上コレクション）



波にウサギ（伊万里焼染付大鉢）【今井寺内町出土・橿原市教育委員会蔵】



月とウサギ（月像幢復元品）【奈良文化財研究所蔵】